

(様式1)

# 環境配慮検討書

平成30年9月3日

三重県環境調整システム推進会議 会長 様

三重県県土整備部河川課長

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対象事業の名称	鈴鹿川水系（指定区間）河川整備計画
担当室又は課所名	三重県県土整備部河川課

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	鈴鹿川水系（指定区間）河川整備計画	
(2)目的	<p>本整備計画は、平成13年1月に策定された鈴鹿川水系（指定区間）河川整備計画の対象期間が概ね20年間で期間の満了に近づいていることから、最新のデータを用いて現計画の妥当性の確認し、鈴鹿川水系（指定区間）の洪水時の河川水位を低下させ、整備計画目標流量を安全に流すことを目的に、河道掘削、河道拡幅、護岸整備、築堤、堰改築、橋梁改築を行う。</p> <p>対象3河川では、過去の流域内の浸水被害や流域内のバランス等を考慮し、足見川においては、年超過確率1/10の規模の降雨による洪水に対して被害を防ぐことを目標とし、基準地点の新大明神橋において70m<sup>3</sup>/s、芥川においては、年超過確率1/5の規模の降雨による洪水に対して被害を防ぐことを目標とし、基準地点の芥川橋において125m<sup>3</sup>/s、椋川においては、年超過確率1/20の規模の降雨による洪水に対して被害を防ぐことを目標とし、基準地点の川合において225m<sup>3</sup>/sの流量を安全に流下させる河道を整備する。</p>	
(3)事業主体	三重県四日市建設事務所、鈴鹿建設事務所	
(4)計画内容	①計画地の位置 ※位置図を添付すること	四日市市、鈴鹿市、亀山市
	②建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、配置図等) ※配置図を添付すること	<p>【足見川】 5.4k付近～8.7k付近 8.95k付近～整備計画区間上流端(11.6k) 河道掘削、河道拡幅、護岸整備、築堤、堰改築、橋梁改築</p> <p>【芥川】 芥川新橋付近(1.4k)～整備計画区間上流端(4.7k) 河道掘削、河道拡幅、護岸整備、築堤、橋梁改築</p> <p>【椋川】 無名橋(0.94k)～整備計画区間上流端(4.31k) 河道掘削、河道拡幅、護岸整備、築堤、橋梁改築</p>
	③用水の使用計画	鈴鹿川水系（指定区間）の水利権は、許可水利権が43件、慣行水利権は368件である。
	④エネルギーの使用計画	なし
	⑤雨水、汚水の排水計画	雨水：なし 汚水：なし
	⑥道路・交通計画	河道掘削、河道拡幅、橋梁改築等の整備による現道路交通への影響が少なくなるよう配慮する。
	⑦工期	概ね30年間
(5)関連事業計画	鈴鹿川水系河川整備計画【大臣管理区間】	
(6)その他	なし	

## 2 計画地の社会的条件の現況等

(1)計画地の社会的条件の現況	① 交通の現況	<p>主要道路については、新名神高速道路（H30 年度完成予定）、東名阪自動車道、名阪国道、国道 1 号、国道 23 号、国道 25 号、国道 306 号が鈴鹿川流域を横過している。</p> <p>鉄道については、JR 関西本線、JR 紀勢本線、近鉄名古屋線、伊勢鉄道が鈴鹿川流域を横過している。</p>
	②土地利用の現況	<p>流域の土地利用（平成25年時点）は、建物用地が約1割、森林が約5割、水田及びその他の農用地が約3割、水域等その他の利用が約1割である。</p> <p>昭和51年以降、農地が減少する一方で「建物用地」の割合が徐々に増加する傾向であったが、近年は横ばい傾向である。</p>
	③水域利用の現況	<p>鈴鹿川水系指定区間における河川の水利用は、沿川一帯の稲作かんがい用を目的としたものがほとんどである。</p> <p>河川の利用としては、「散歩」や「自然観察」としての利用が挙げられている。</p>
	④生活関連施設の現況	<p>生活関連施設の立地状況</p> <p>&lt;足見川&gt;</p> <p>a. 学校施設：四日市市立小山田小学校、四日市市立西陵中学校 ほか</p> <p>b. 医療施設：小山田記念温泉病院 ほか</p> <p>c. 公共施設：なし</p> <p>d. 文化施設：小林町公民館 ほか</p> <p>&lt;芥川&gt;</p> <p>a. 学校施設：白鳩保育園、鈴鹿市立白鳥中学校 ほか</p> <p>b. 医療施設：鈴鹿病院、鈴鹿さくら病院 ほか</p> <p>c. 公共施設：なし</p> <p>d. 文化施設：なし</p> <p>&lt;椋川&gt;</p> <p>a. 学校施設：鈴鹿市立井田川小学校、亀山市立井田川小学校 ほか</p> <p>b. 医療施設：鈴鹿回生病院 ほか</p> <p>c. 公共施設：なし</p> <p>d. 文化施設：なし</p>
(2)関係法令等による地域の指定・規制状況	①自然環境保全地域等の指定状況	<p>自然環境保全地域、自然公園地域、鳥獣保護区の指定状況</p> <p>自然公園地域（区域）：指定有（鈴鹿国定公園）</p> <p>鳥獣保護区の指定状況：指定有</p>

<p>②土地利用 規制の現 況</p>	<p>都市計画法、農業地域振興法、森林法等の規制状況</p> <p>a. 都市計画法 : 規制有</p> <p>b. 農業地域振興法 : 規制有</p> <p>c. 森林法等 : 規制有</p> <p>d. 砂防法 : 規制有</p> <p>e. 地すべり等防止法 : 規制有</p> <p>f. 急傾斜地災害防止法 : 規制有</p> <p>g. 河川法 : 規制有</p> <p>h. 海岸法 : 規制無</p> <p>i. 文化財保護法 : 規制無</p> <p>j. 景観法 : 規制有</p>
-----------------------------	---

3 計画地の自然的条件の現況

(1)地形 ・地質	文献調査	文献名	20 万分の 1 土地分類基本調査（地形分類図）「三重県」（昭和 50 年）	
	現地調査の有無	有 ・ <input type="checkbox"/> 無		聴取調査の有無
	調査結果等	<p><b>【地形】</b> 鈴鹿川本川および支川の沿川は扇状地性低地となっており、支川はV字谷を形成して流下している。</p> <p><b>【地質】</b> 流域の地質は、上流域の山地部は主に花崗岩で構成され、中下流域の段丘部や扇状地性低地は砂岩・泥岩や未固結の礫にて構成されている。</p>		
(2)水象	文献調査	文献名	なし	
	現地調査の有無	有 ・ <input type="checkbox"/> 無		聴取調査の有無
	調査結果等 ① 河川 湖沼	<p>鈴鹿川は、三重県の北勢地域をほぼ南北方向に連なる鈴鹿山脈に水源を發し、亀山市、四日市市、鈴鹿市を貫流する。</p> <p>流域の形状は三角形に近く、鈴鹿川本川はその底辺部に沿うように流下し、鈴鹿山脈から東南方向に流下する支川を合流して伊勢湾に注いでいる。</p>		
② 海域	伊勢湾に流入する。			

(3)気象・ 大気質等	調査の方法	気象庁HP 水質調査（国土交通省水文学データベース）		
	調査結果	気 温：平均15℃～16℃ （四日市・亀山観測所（気象庁）H19年～H28年 年平均） 降 水 量：1,900mm程度 （四日市・亀山観測所（気象庁）H19年～H28年 年平均） 最多風向：－ 風 速：－ 大 気 質：－ 水 質：1.0mg/L程度（河原田橋（内部川）BOD（AA 類型相当） 1.0mg/L程度（庄野橋（鈴鹿川）BOD（AA 類型相当） 1.0mg/L程度（中富田橋（鈴鹿川）BOD（AA 類型相当） 騒 音：－ 振 動：－		
(4)生態系 等	文献調査	文献名	H13鈴鹿川水系（指定区間）河川整備計画 「絶滅危惧種分布図（平成25年度）」 自然環境保全基礎調査植生調査1/25,000植生図(1999 ～2012：第6 - 7回調査)	
	現地調査の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 対象：植生分布、鳥類、哺乳類 時期：（平成29年7月）	聴取調査 の有無	有 ・ <input type="checkbox"/>
	調査結果等 ① 植物	<足見川> 河道内は主にツルヨシ、オギ、セイタアワダチソウなどの高茎草地在り占め、上流部の河道周辺はエノキ、ムクノキ、マダケ等の概ね10m以上の林で囲まれている。 <芥川> 鈴鹿川合流部付近に植生はほとんどないが、日本コンクリート工場より上流は、ツルヨシ、オギ、セイタアワダチソウなどの高茎草地在り占め、一部エノキ、ムクノキ、マダケ等の高木林が見られた。 <椋川> 河道内は主にツルヨシ、オギ、セイタアワダチソウなどの高茎草地在り占め、上流部は自然裸地や高さが概ね5m未満の低木林が見られる。		
② 動物	<足見川> 魚類では、重要種であるホトゲドジョウ、ウナギ、特定外来種であるオオクチバスが確認されている。 鳥類では、重要種であるサシバ、チュウサギが確認されている。 <芥川> 魚類では、重要種であるメダカ、特定外来種であるカダヤシ、オオクチバスが確認されている。 哺乳類では、特定外来種であるヌートリアが確認されている。 <椋川> 魚類では、重要種であるメダカ、トウカイヨシノボリ、特定外来種であるカダヤシ、オオクチバス、ブルーギルが確認されている。 鳥類では、重要種であるケリ、チュウサギ、オオタカが確認されている。 哺乳類では、特定外来種であるヌートリアが確認されている。			

(5)自然景観・文化財等	文献調査	文献名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県教育委員会 文化財データベース（三重県教育委員会HP）</li> <li>・鈴鹿川水系河川整備基本方針 流域概要資料（平成20年6月 国土交通省河川局）</li> <li>・鈴鹿川水系河川整備計画【大臣管理区間】（平成28年12月 中部地方整備局）</li> </ul>			
	現地調査の有無	有 ・ 無 ( )	聴取調査の有無	有 ・ 無		
	調査結果等 ① 自然景観	<p>鈴鹿川流域は、上流域が鈴鹿国定公園に指定されるほか、河口部には自然の砂浜海岸が広がるなど、優れた自然景観が点在している。上流域では石水溪や小岐須溪谷などの溪谷美が特徴的であり、多くの人々が訪れる観光地にもなっている。中流域に入ると、水田とともに緩やかな丘陵地となり、茶園やサツキ等の花木を生産する畑が広がり、田園風景が広がっている。下流域は従来、水田として利用されてきたが、近年では都市化が進んでおり、田園風景と都市景観が調和した景観を形成している。河口部には干潟が広がるとともに、自然の砂浜海岸が残され、特徴的な景観を形成している。</p>				
②文化財、史跡、名勝等	<p>流域内の文化財としては、鈴鹿川本川沿いに古代からの史跡や文化財等が多く分布し、その代表的なものとして、国指定の史跡である伊勢国分寺跡、伊勢国府跡などが分布している。</p> <p>さらに、この地域は昔からの交通の要所であったことから、石薬師、庄野、亀山、関および坂下の5ヶ所の宿駅などの史跡も多く残されている。</p>					
③野外レクリエーション 他	<p>鈴鹿川の河川の利用については、上流部では豊かな自然環境を利用して、アユ、アマゴ等の釣り場として利用されるとともに、初夏の新緑や秋の紅葉など溪谷美を楽しむ景勝地のため、散策路やキャンプ場として多くの人々が利用している。中流部は、東海道で最も長い暇道である大岡寺の桜並木が名所となっている。下流部の高水敷は、都市計画緑地として、グラウンドや公園が整備され、散策やスポーツ、レクリエーションの場として多くの人に利用されている。河口部では、干潟と四日市コンビナートが隣接する独特の景観を形成し、川面に映るコンビナートの夜景は写真撮影のスポットとなっている。</p>					

(6)その他

自然災害等【洪水】

鈴鹿川流域で発生した主要な洪水被害としては、昭和46年8月の台風23号、昭和49年7月豪雨、平成5年9月豪雨、平成7年5月豪雨の溢水被害が挙げられる。

昭和46年8月の台風23号（最大時間雨量80mm）にて床上浸水207戸、昭和49年7月豪雨（最大時間雨量100mm）にて床上浸水498戸・床下浸水985戸、平成5年9月豪雨（最大時間雨量56mm）にて床上浸水4戸・床下浸水6戸、平成7年5月豪雨（最大時間雨量80mm）にて床上浸水2戸・床下浸水18戸の被害が生じている。

表 既往降雨による被害状況（外水被害）

河川名	主要洪水		浸水戸数※3		水害原因	1時間最大雨量mm※1	雨量確率※2
鈴鹿川※4	S46.8	台風23号	-	床上273	-（記載無し）	80.0（加太〔国〕）	約1/25
芥川、足見川、鎌谷川、内部川、安楽川、椋川、竜川	S49.7~8	豪雨	床下985	床上498	無堤部および有堤部溢水・内水	100.0（亀山〔国〕）	約1/110
椋川	S51.9	台風17号と豪雨	床下2	-	無堤部溢水、内水	40.0（亀山〔気〕）	1/5未満
鈴鹿川	S58.8	豪雨	床下13	-	有堤部溢水	46.0（椿〔国〕）	1/5未満
足見川	S63.6~7	豪雨	床下1	-	無堤部溢水	44.0（鈴鹿〔国〕）	1/5未満
鈴鹿川		豪雨	床下3	-	無堤部溢水	44.0（鈴鹿〔国〕）	1/5未満
椋川	H5.9	豪雨	床下6	床上4	有堤部溢水	56.0（亀山〔気〕）	約1/5
椋川	H7.5	豪雨	床下18	床上2	有堤部溢水	80.0（亀山〔気〕）	約1/25
鈴鹿川	H9.6~7	豪雨	床下3	-	無堤部溢水	69.0（加太〔国〕）	約1/10

出典：水害統計

(6)その他

自然災害等【内水】

県管理区間の流域で内水により浸水被害が生じた洪水を抽出した。平成 24 年 9 月に内水により多くの箇所浸水被害が発生している。

表 既往降雨による被害状況（内水被害）

河川名	主要洪水		浸水戸数		水害原因	1時間 最大雨量mm※1	雨量 確率※2
鎌谷川	H24.9月上旬	豪雨	-	床上1	内水	30.0（四日市〔気〕） 66.0（山之坊〔国〕）	1/5未満 約1/10
浪瀬川	H24.9下旬 ～10	台風17号	床下6	-		70.0（四日市〔気〕） 79.0（加佐登〔国〕） 84.0（亀山〔国〕）	約1/10 約1/25 約1/35
椋川			床下4	床上9			
足見川			床下2	-			
小池川			床下21	床上2			
芥川			床下20	-			
内部川			床下34	-			
鈴鹿川			床下2	-			
芥川	H26.7～8	台風11 12号	床下1	-		38.5（四日市〔気〕） 59.0（亀山〔国〕）	1/5未満 約1/5



#### 4 事業計画の検討内容（複数案比較）

複数案比較が実施できない理由	足見川、芥川、椋川の流下能力確保のための比較案として、ダム案、遊水地案等が考えられるが、最新のデータを用いて計画流量の検討を行ったところ、既定計画（H13策定整備計画）同じ計画流量となること、また既定計画に基づき、整備がすすめられていることから他案との比較検討は実施しない。
----------------	---

#### 5 事業計画案の環境配慮に係る評価

長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚類をはじめとする動植物の生息・生育・繁殖環境の保全や河川景観へも配慮し、河川の連続性の確保に努める。</li> <li>・河道掘削等の施工にあたっては、重要な動植物の生息・生育・繁殖環境の保全に努める、段階的な施工により急激な環境の変化を避ける、施工箇所に生息・生育している動植物とその生態に関して把握に努める等、施工の時期や方法について工夫に努める。</li> </ul>
短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河道掘削により一時的に河床の攪拌によって底生生物などの生息環境の改変が懸念されるが、施工区間の細分と十分な工事期間の確保や、左右岸に分けた段階的な掘削など、施工上の工夫により工事による影響を低減する。</li> </ul>
会議で調整を要する事柄	特に無し